

動植物性残渣、有機汚泥、廃酸・廃アルカリ、動物の死体

食リ法 大臣登録



有機班 配置図



水分調整材、発酵促進材は自社生産します



モバーク 1200XL
木質系破碎機



バイオチョッパー
畳、ワラなどの長物を裁断・攪拌します。



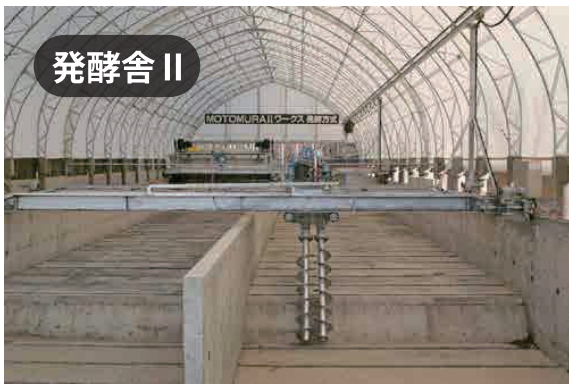
ダイヤモンドZ
木質系破碎機



スタースクリーン
伐開物(ボサ)などから土砂を分離します。

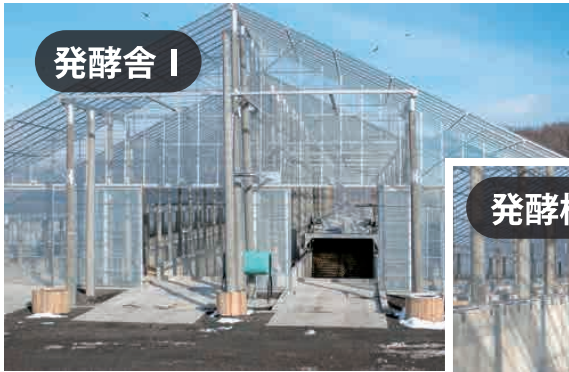


伐根、抜木、剪定枝、枯れ葉は、モバーク、ダイヤモンド、諸岡6000などの破碎機で破碎・粉碎しチップ化し、水分調整材、発酵促進材として利用されます。ワラや草根なども処理後、最終的には発酵促進材に利用出来ます。



発酵舎Ⅱ

独自開発のTwo Worksで、やっかいな大塊物・重粘物の前処理を行いながら攪拌1次発酵します



発酵舎Ⅰ

発酵熱で蒸発した堆肥の水分補給に処理された有機汚水が利用されます



発酵槽・攪拌機

発酵舎Ⅰ 舎内スクープ式4レーンで処理

堆肥

堆肥、特殊肥料登録
北海道受理番号 5415号
受理年月日平成11年9月14日
肥料の名称 くぎ丸

堆肥、発酵飼料



みみず飼育舎

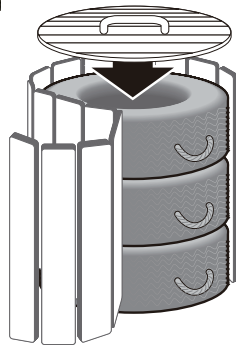
堆肥は、みみず飼料としても利用します(有)ゆうきの里



エコミミー

ホームセンター等のガーデニングコーナーで人気の商品です!

「みみず」と「廃タイヤ」を利用したみみずタイヤコンポストの作り方はトップページから無料でダウンロード出来ます!(PDF形式です)



前処理



動植物性残渣は水分調整・発酵促進材として同量のちとせマグマ菌体(チップ)、戻し堆肥と混ぜて発酵施設に投入し、堆肥・飼料の生産をします。

超高温発酵菌 ちとせマグマ

汚水処理(廃酸・廃アルカリ・有機汚水)



ちとせマグマ菌を使い、最高107°C、通常でも90°Cの発酵熱でふり掛けた汚水を、即日蒸発させると共に、雑菌や雑草の種は死滅させています。

(独)産総研と特許併願

堆肥盤使用例



汚水を天井から散布し、400㎡の施設で1日当たり20tを処理しています。

極寒地 育ちの「ちとせマグマ」はマイナス25°Cでも 高温発酵!!



菌床の表面は霜柱ができ、白く凍り付いても…30cm内側は85°Cを維持しています。